

令和4年度 やまばと幼稚園教育課題 後期(10月中旬～3月)自己評価

5段階評価(AA A B C D)取り組みがなされなかった場合は斜線

課題1 遊びや体験活動の環境構成

A

重点的取り組み

○主体的で対話的な深い学びの推進	A
○自然や四季を感じる体験やそれを取り込んだ遊びの工夫	A
○遊びの継続性	A
○雨天・晴天時の室内遊びの工夫	B
○自由遊びの充実・推進	

課題2 丈夫な体づくり

A

重点的取り組み

○運動におけるメダルへの挑戦(個人)	AA
○運動器具を使った運動遊びの展開と工夫	A

課題3 思いやりの心育て

A

重点的取り組み

○あいさつ・感謝の言葉の推進	A
○植物や虫などの命を大切に作る心や態度	A
○物を大切に作る態度	A
○異年齢交流の推進	A

課題4 身につけさせたい基本的生活習慣

A

重点的取り組み

食事時間の調整力	A
トイレのスリッパ揃え	A
自主的な片付け	A
気づかせるロッカーの整理整頓	B
自主てくな待つ姿勢、聞く姿勢、話す姿勢	A

課題5 言語感覚の広がり～漢字教育を通して～

A

重点的取り組み

イメージ力を育てる漢字遊び(漢字カルタ等の活用)	A
興味が湧き出る読書(漢字絵本)活動	A

課題6 小学校への接続

A

重点的取り組み

○小学校での体験学習	
○幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」の振り返り	A

課題7 特別支援教育(保育)

A

重点的取り組み

○子ども理解	A
○保護者の理解と連携	A
○支援体制の充実	A
○専門機関等への相談・連携	A

課題8 園内研修の充実(保護者対応を含む)

A

重点的取り組み

○研究の深化と成果の活用	A
○修養の場の設定	A
○人権尊重の意識高揚	A

総合評価

A

備考

○本教育課題は、平成28年度から年度毎に見直しを図り今日に至っている。

○各課題は、当園教員(全学級担任)が、研修の一環として教育状況を分析した中で導き、課題数は現時点で8としている。

○重点的取り組みは、課題設定にあたっての根拠となる項目でもある。

○本自己評価は、当園教員(全学級担任)が重点的取り組み状況を5段階で点数化し、さらに、高評価から順次AA、A、B、C、Dの5段階で表示した。

○本自己評価は年度内に2回(前期、後期)実施する。